

# ナチスとラジオ(国民受信機)

1933年1月30日、ナチス(国家社会主義労働者党)がドイツの政権を掌握し、ヒットラーはラジオを権力行使のきわめて基幹的な装置と考え、1933年2月1日、ヒットラーは初めてラジオのマイクに向かって演説を行った。

1938年の「ドイツ・ラジオ提要」に「拡声器(ラジオ)がなかったら、我々はドイツを征服することはできなかった」と記されているように、ナチスのゲッベルスはラジオ事業を独占し、ナチスの政治思想の普及(洗脳)を進めていった。

よって、安価で統一規格の国民受信機を大量生産し、全家庭に普及させることを計画した。



ナチスの宣伝ポスター  
(中央が国民受信機VE-301)



展示会で国民受信機DKE1938の説明を受けるナチス・ゲッベルス

# 国民受信機DKE1938



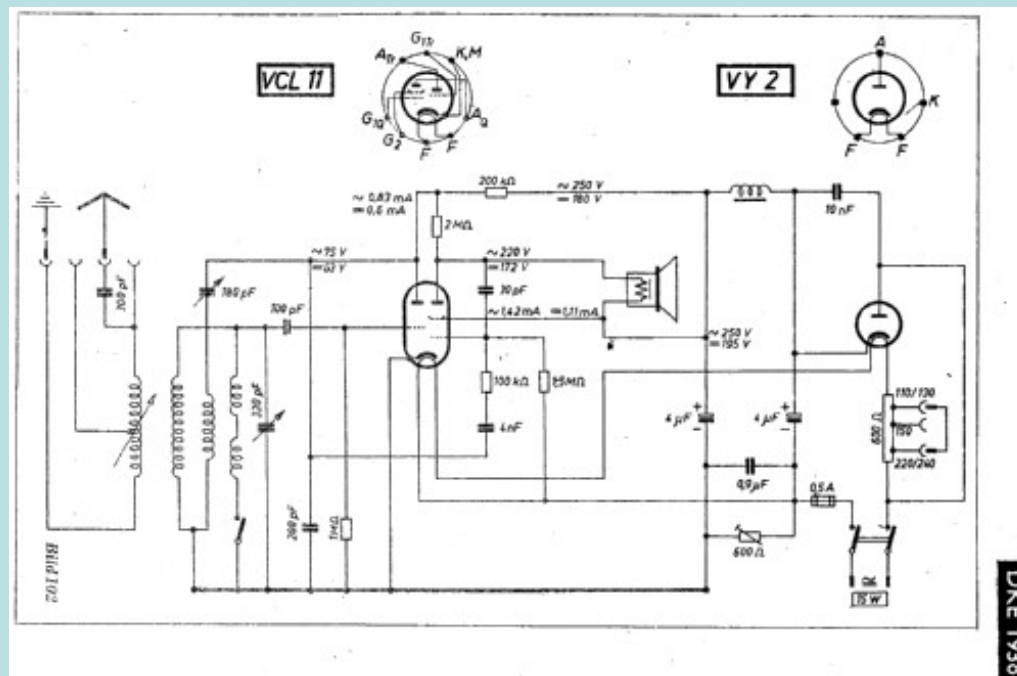
1933年、最初の国民受信機VE 301型が登場。  
(VEはVolksEmpfängerの頭文字、301は政権樹立の日の1月30日)  
そして、1938年、更なる普及と資材節約のため、  
安価な(VE-301の半分) DKE1938が登場した。

## DKE1938の仕様

- 複合管VCL11と整流管VY2の2球式
- 長波・中波の2バンド方式
- 再生方式
- 電源:トランスレス AC110/130/150/220/240V(選択)
- 筐体:ベークライド(24cm\*24cm\*12cm)



那須科学歴史館に展示

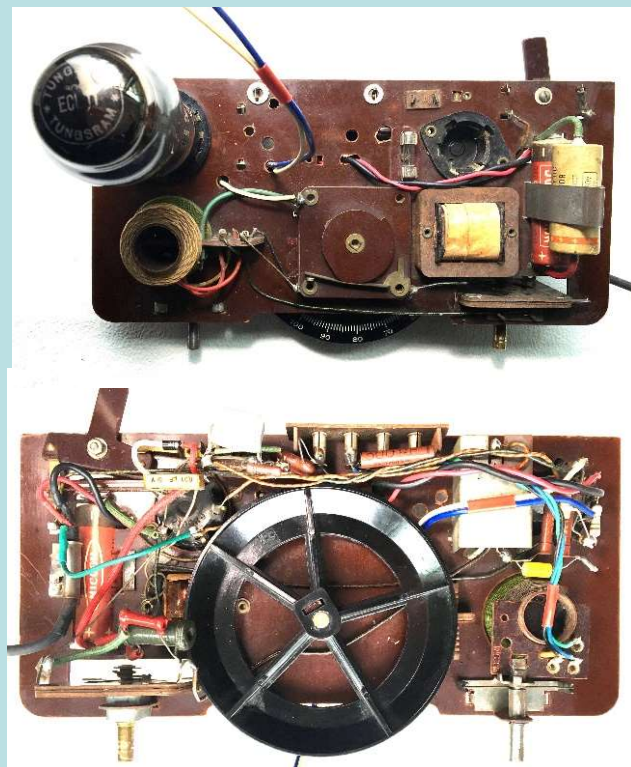




# 国民受信機DKE1938の詳細(補修時に撮影)



内部構造は簡素化され非常にコンパクト。金属の使用を出来る限り避けている。



同調回路の1次と2次コイルの結合を機械的に変えることにより、感度調整を行っている。



スピーカーはマグネチック・タイプ  
(かなり劣化しているが動作している)



筐体内部



筐体フロント中央部



スピーカー・ボディ

いたる所に存在するナチスのマーク